



第21-19号

2021年6月23日

相模原市の農業・畜産生産者と連携した地域の魅力発信イベント
6月26日 相模大野駅で地元農畜産物を販売します
～ 相模原市における都市農業振興の課題解決に貢献します ～

小田急電鉄株式会社（所在地：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、相模原市の農業・畜産生産者とともに、2021年6月26日（土）、小田急線相模大野駅構内において相模原市産の野菜や豚肉などを販売するイベントを実施します。

相模原市は、新宿から約40分と都心近郊のエリアでありながら、都市農業・畜産が盛んな地域である一方で、農業における「多様な担い手の育成・確保」や「地産地消の推進」という課題があります。本施策は、農業に留まらず畜産も含め、相模原市最大級の乗降人数を誇る相模大野駅で直売イベントを行うことにより、地元農畜産物の認知度向上による地産地消の推進と、担い手の方と消費者である駅ご利用の方々との交流を通じた地域への愛着醸成を目指すものです。

当日は、相模大野駅中央改札口外へ特設ブースを設け、地元産の野菜・お米・豚肉・卵を販売します。顔が見え、それぞれの商品に対する詳細なご説明ができるよう、各生産者が販売ブースに立ち、当社の鉄道部門係員等のスタッフが販売のサポートをいたします。



相模原市 生産者の座間さん

当社では、地域の個性や特色を引き出すなど、沿線地域社会の課題解決や活性化のために、駅をはじめとした鉄道資産の活用に取り組んでいます。引き続き、小田急沿線の暮らしが一層充実し、ご利用いただく皆さまの地域への愛着につながる取り組みを推進してまいります。

本件の詳細は下記のとおりです。

記

1 開催日時 2021年6月26日(土) 13:00~17:00
 ※新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い実施いたします

2 開催場所 相模大野駅中央改札口外



3 内容 生産者、当社社員による地元野菜・卵・米・豚肉の販売

4 目的 相模原市における魅力・特色の効果的発信および認知
 生産者と消費者の新たな接点創出

5 協力 相模原市 生産者の方々

<参考> 生産者紹介

<p>(株)サトミ</p>		<p>数種類のハーブをミックスした飼料で育てた、相模原産のブランド豚「さがみはら香福豚」を販売し、市内における畜産の普及・発展に取り組んでいる。</p>
<p>(有)ホソヤファーム</p>		<p>相模原市内で養鶏が盛んな南区麻溝台で、昭和23年から長年養鶏を営み、一貫して安全・安心のたまごを生産・販売している。</p>
<p>ざまさんち</p>		<p>富士山を源流に持つ相模川の水や、環境・景観にも優しい「れんげ」の緑肥を使用して「相模原のれんげ米」を生産、販売している。</p>
<p>大ちゃんの野菜</p>		<p>「地元の野菜を食卓へ」という思いで、家族で相模原大ちゃんの野菜を生産している。旬にこだわり、低農薬でどこよりも新鮮な野菜をお届けすることを大切にしている。</p>

以上